

# くまのこだより



## 丘の上から8

昭和59年に開園した時に苗木だった桜の木を園舎建替えのため伐採することになり、『ありがとうの会』を行いました。

また、伐採当日はそら組のこどもたちがお清めを行い、最後に根本の部分を切ってもらい、きれいに洗って大切に飾っています。年輪を数えようと頑張りましたがうまく数えられませんでした。

さくらが丘保育園の小さな園舎からどんどん増築されていく様や、たくさんのことこどもや大人の成長を見守りながら共に成長してきた木です。その幹や枝は別の形として残したいと思います。そして、この木の命を引き継ぐため造園業者の方に相談してそら組のこどもたちと「挿し木」をしました。どうかどうかこの木の命が次の世代へ引き継がれますように。



花房 由美

# すずらんだより

## 冬の服装について

寒くなると、つい多めに着込みがちですが、子どもは体温が高く、汗もかきやすいので、大人より1枚少ない服装を心がけましょう。

- ①下着を着けて体を冷やさないこと。
- ②厚手の服を1枚着るより、素材の異なる薄手の服を2枚重ねる。(空気の層ができて温かくなり、室温に合わせて脱ぎ着がしやすくなります)
- ③屋外で着るジャンパーなどは、そで口や首元がピッタリと閉じている物を選びましょう。

## 冬のかぜについて

冬に流行するかぜには、発熱、鼻水、喉などが主症状の“鼻どのどのかぜ”と、嘔吐や下痢が主症状の“お腹にくるかぜ”(感染性胃腸炎など)があります。冬場、特に注意すべきはインフルエンザです。時に重症化することがあり、急な発熱や悪寒、筋肉痛・関節痛を伴うようなら、インフルエンザの可能性があるので早めに医師にかかりましょう。



自宅では、部屋を保温・加湿し、脱水症状が出ないよう、水分補給には十分注意しましょう。

## 健脚サポーター募集中

11月28日(金)

健脚活動があります。

健脚サポーターを募集しています。

秋から冬への自然の移り変わりを感じながらこどもたちと一緒に歩きましょう。

参加していただける方は担任へ声をかけてください。

お待ちしています。



11月5日(水)

全国一斉緊急地震速報

(Jアラート)に参加をしました。



緊急地震速報を知らせる放送を  
聞いて避難中の様子

# あそびと食事

## そら組



保護者からいただいた渋柿を使って、日本の昔ながらの保存食である干し柿作りをしました。グループに2つのピーラーを渡して、150個程の渋柿の皮むきをしました。いろいろな経験がこどもたちの生きる力になると思っています。苦戦することも考える力につながります。

皮がなかなかむけない子のピーラーを見たら、刃が裏返しの状態で苦戦していました。渋柿の渋ですべって、何度も柿を机の上に落としてしまう子もいました。むきにくい子は友だちに柿を押えてもらおうとお願いしている姿もありました。(こどもなりに考えたのですが、危ないので一人でするようにお願いをしました)

冬にはおいしい干し柿を食したいと思います。

土屋 勇気

# ほし組



夏野菜で育てていたかぼちゃを収穫し、スイートパンプキンを作りました。今まで何度も何度かしたことがあるクッキングですが、クッキングを通して、「包丁の持ち方や使い方」「野菜の皮を剥くとこんな色、見た目をしているんだ」など新しい学びや発見をすることができます。今回のかぼちゃでも「皮は緑なのに皮を剥いたら黄色なんだ」「ふかしてもらうと柔らかくなるね」といろいろな発見がありました。友だちと協力しながらかぼちゃを細かく潰し、アルミカップに入れてオーブンで焼いてもらいました。

クッキングをすると、普段は野菜が苦手な子も驚くくらいパクパク食べています。自分で作ると一味違うのかもしれません。味覚、嗅覚等いろいろな感覚を通して、おいしさを共有していきたいです。



原 万理奈

# つき組



お月見会で団子探しゲームをしました。団子?丸い?…ぶどう?ということで会の最後は職員の家で育てているシャインマスカットをこどもたちにプレゼントしました。シャインマスカットは月のうさぎがくれたという設定です。みんな大喜びで、「うさぎ優しいな」「夜、月見なきゃ」とうさぎに思いをはせていました。

つき組では、季節の食べ物や日本の伝統行事を大切にしています。大切な行事の日に食べた物は、きっと心に残るのではないかと思っています。楽しく旬の食べ物に触れ合えるようにしたいです。

青江 仁美



# にじ組



給食室の手伝いでしめじ割きをしました。しめじを袋から出すと指先で触ってみたり、においを匂ってみたりしていたこどもたち。友だちが触っているのを見ると他の子も触りたくなり、笑いながら顔を見合わせていました。においをかぐと「くさ~」と鼻をつまんでいる子もいました。割き方伝えるとあっという間にしめじがボール一杯になりました。割き終わったしめじを給食室まで届ける仕事もしました。

食事の時「手伝いしたしめじが入っているんじゃない?」とこどもたちに話をすると、「お手伝いした」と嬉しそうに食べている姿がありました。

葉物、キノコ類などいろいろな食材に触れていき、興味が持てたらいいなと思いました。



下山 静菜

## ゆき組



食事の時「これは、人参かな」「おにぎりがある」と盛り付けてあるお皿を見て話すことが増えてきました。日頃、食材の名前や味など、ままごとや、絵本を見て、つながり始めているように思います。

味覚の変化や嗜好が出てくる時期ですが、これからも食べる意欲に繋がるよう、遊び、食材に触れる経験をします。

岡村 里恵



## はな組



はいはいで移動することができるようになったこどもたち。棚に置いてある玩具に自分から手を伸ばして掴んだり、なめたりすることを楽しんでいます。

この遊びが、自分で食べ物を持って口に運ぶ力を育てています。体を動かしてあそぶことも、食事の姿勢づくりに大切です。遊びと食事はどちらも成長に欠かせない経験。これからも、楽しく遊びながら「食べる力」も育っていくように、一人ひとりの成長に寄り添っていきます。

柏 結衣

## 給食室より

みんな大好き、コーンフレーククッキーを作っている様子です。後半になるとコーンフレークがポロポロくっつきにくくなるので、生地を少し多めに作るのがポイントです。

梅本 果歩



先日は食育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。まだやってないよという方はお知らせメールでアンケートを送らせていただいているので、お答えいただけたらと思います。

給食やおやつのレシピが欲しい、何か相談したいことがある際はいつでもお声掛けくださいね。



## 工事状況



10月15日(水)に安全祈願祭をおこないました。そら組は保育園の代表として参加。めったに経験することのない行事に緊張する気持ちや姿が伝わってきました。

ほし組・つき組は工事関係者の方が特別に用意してくれた観覧席に座って、安全祈願祭の様子をじっと真剣な眼差しで見ていました。はなゆき組・にじ組も様子が気になるようで、フェンス越しにのぞく姿が微笑ましかったです。





# 夢中になろう会



今回は、はなゆき組・にじ組の『親子親睦会』です。その様子をお知らせします。

にじ組



最初はピニャータを「パンチ!パンチ!」と言いながらたたいていたのですが破れなくて、最後はみんなで破いてプレゼントをもらいました。

はなゆき組



「よーい、スタート」の合図と共にピニャータをたたき始めました。なかなか割れませんでしたが、子どもも大人も満面の笑顔で夢中になっている姿が印象的でした。みんなのパワーで無事に割ることができました。とても簡単な遊びですが文句なしに楽しみました。面白かったです。